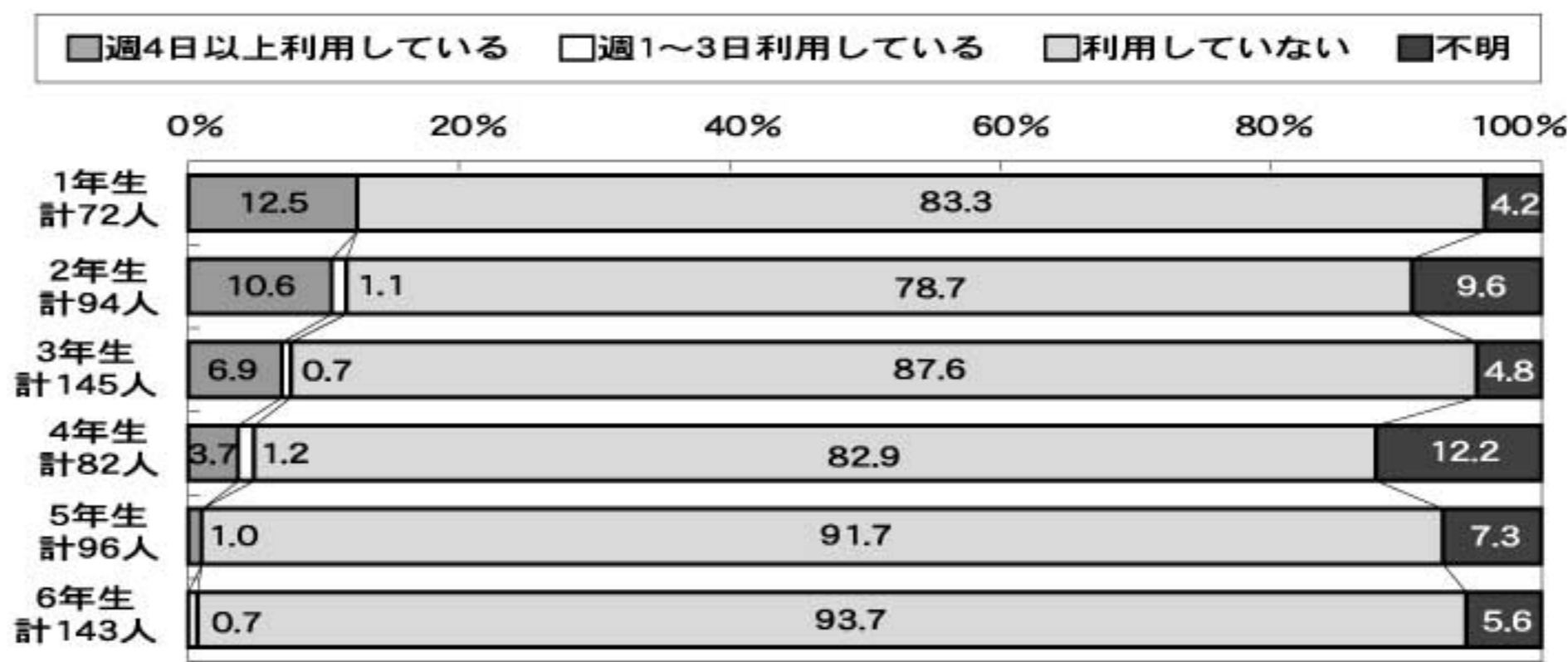


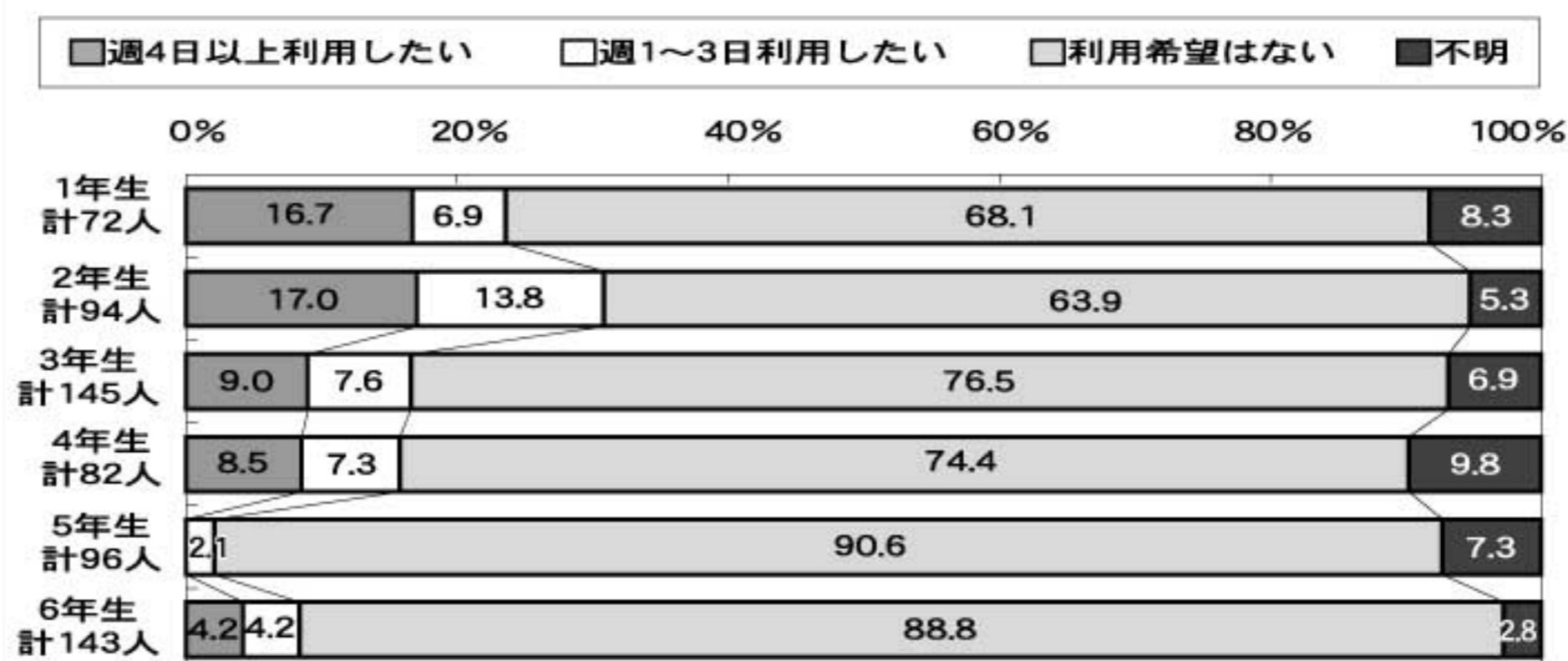
放課後児童クラブの利用状況（学年別）



放課後児童クラブの利用状況と今後の利用意向

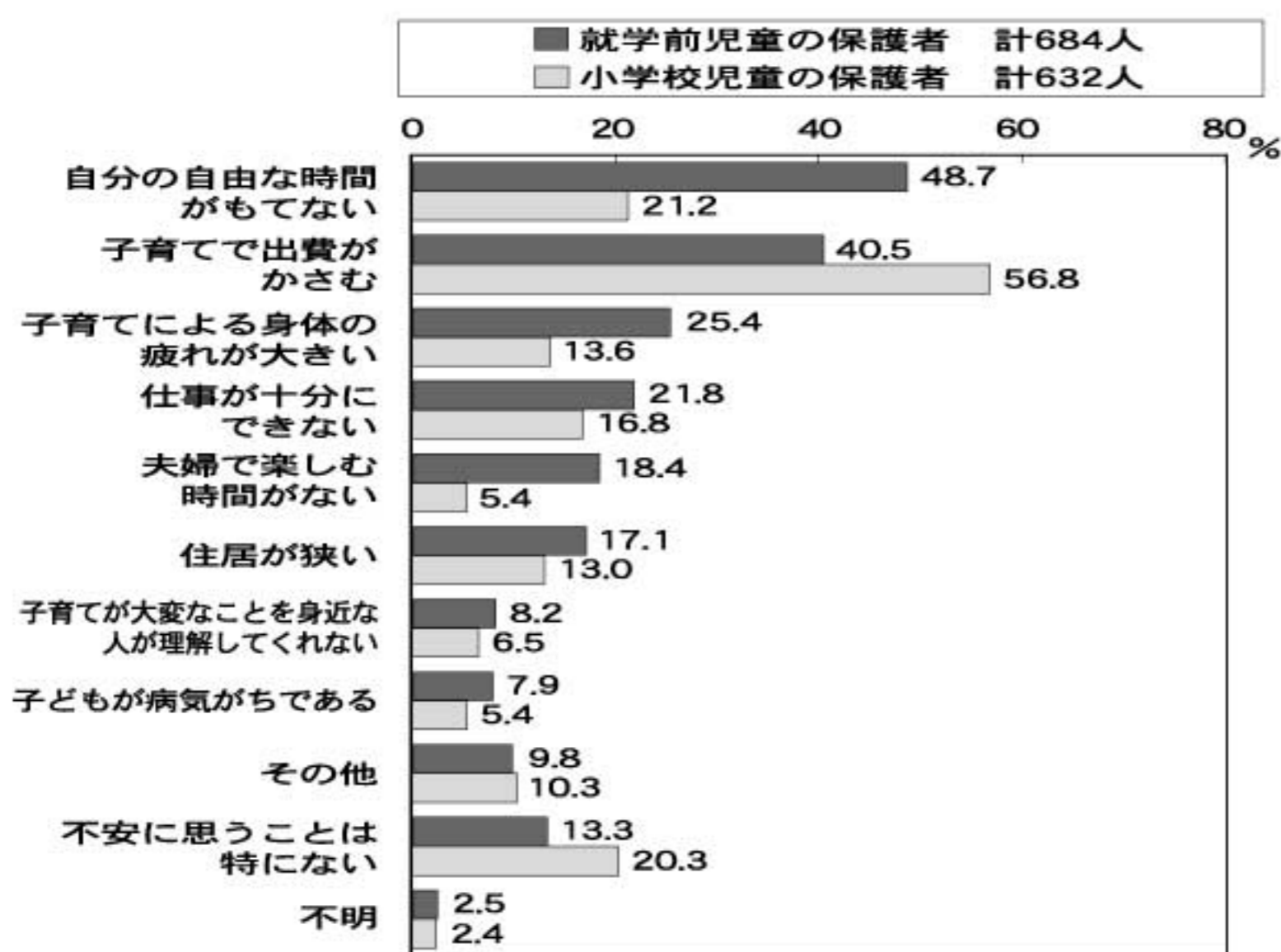
小学校児童用調査において、放課後児童クラブ（学童保育）を平日「利用している」と回答した人は5.8%で、その利用割合を子どもの学年別にみると、学年が高くなるにつれて低くなっています。

放課後児童クラブの今後の利用意向（学年別）



一方、放課後児童クラブを今後「利用したい」と回答した人は15.3%で、現在の利用割合を9.5ポイント上回っています。また、子どもの学年別に放課後児童クラブの利用意向をみると、「2年生」の30.8%を筆頭に、ほぼ「4年生」まではニーズが高く、「5年生」以上になるとニーズが低くなることわかりました。

子育てをする上での不安や悩み



子育てをする上での不安や悩み

子育てをする上での不安や悩みで最も多かったのは、就学前児童の保護者では「自分の自由な時間がもてない」（48.7%）、小学校児童の保護者では「子育てで出費がかさむ」（56.8%）でした。

就学前の子どもの小さい時は、子育てに時間をとられたり、身体が疲れるといった内容が悩みの中心であ

るのに対し、やがて子どもの成長に伴い、手にかかる子育てからやや解放されることによって、教育費をはじめとする経済上の問題へ内容が移行している様子が見てとれます。

市に対し充実を期待する 子育て支援

就学前児童の保護者が、市に充実を期待する子育て支援としては、「保育所や幼稚園にかかる費用負担の軽減」が68.4%と最も多く、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」という要望（65.4%）や「育児費用（出産費用を含む）の補助」（54.8%）がそれに続いています。

一方、小学校児童の保護者が、市に充実を期待する子育て支援としては、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい」が51.3%と最も多く、以下、就学前と同様「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」という要望（47.0%）や「育児費用（出産費用を含む）の補助」（36.4%）がそれに続いています。